

平成18年10月期 第三級陸上特殊無線技士 試験問題

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法 規

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

〔1〕 再免許を受けた基地局の免許の有効期間は、次のどれか。

1. 3年
2. 4年
3. 5年
4. 無期限

〔2〕 電波法の規定により、免許人があらかじめ総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）の許可を受けなければならないのは、次のどの場合か。

1. 無線設備の変更の工事をしようとするとき。
2. 無線局の運用を開始しようとするとき。
3. 無線局の運用を休止しようとするとき。
4. 無線局を廃止しようとするとき。

〔3〕 次の記述は、電波の質に関する電波法の規定である。☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「送信設備に使用する電波の周波数の偏差及び幅、☐ 等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。」

1. 空中線電力の偏差
2. 変調度
3. 高調波の強度
4. 信号対雑音比

〔4〕 次の記述は、電波法施行規則の規定である。

☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線従事者は、その業務に従事しているときは、無線従事者免許証を ☐ していなければならない。」

1. 通信室に掲示
2. 無線室に保管
3. 免許人に預託
4. 携帯

〔5〕 第三級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、1,215 メガヘルツ以上の電波の周波数を使用する陸上の無線局の無線設備（レーダー及び人工衛星局の中継により無線通信を行う無線局の多重無線設備を除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワットまでか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 250ワット
2. 100ワット
3. 25ワット
4. 10ワット

〔6〕 無線従事者が免許証の訂正を受けなければならないのは、どの場合か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 氏名に変更を生じたとき。
2. 本籍地に変更を生じたとき。
3. 住所に変更を生じたとき。
4. 他の無線従事者の資格を取得したとき。

法

- 〔7〕 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定である。□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその □ を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

1. 情報
2. 通信事項
3. 存在若しくは内容
4. 相手方及び記録

- 〔8〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命じられることがある場合は、次のどれか。

1. 暗語を使用して通信を行ったとき。
2. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
3. 免許状又は登録状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
4. 発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき。

- 〔9〕 免許人（包括免許人を除く。）が正当な理由がないのに無線局の運用を引き続き何箇月以上休止したときにその免許を取り消されることがあるか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 6 箇月
2. 3 箇月
3. 2 箇月
4. 1 箇月

規

- 〔10〕 電波法に違反して運用した無線局を認めたとき、電波法の規定により免許人又は登録人（以下「免許人等」という。）がとらなければならない措置は、次のどれか。

1. 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
2. その無線局の免許人等にその旨を通知する。
3. その無線局の免許人等を告発する。
4. その無線局の電波の発射を停止させる。

- 〔11〕 免許人は、免許状に記載された事項に変更を生じたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 直ちに届け出る。
2. 免許状の訂正を受ける。
3. 再免許を申請する。
4. その旨を報告する。

- 〔12〕 無線局の免許人又は登録人は、無線従事者を選任又は解任したときは、電波法の規定により、どの手続をとらなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 速やかに総務大臣の承認を受ける。
2. 2 週間以内にその旨を届け出る。
3. 1 箇月以内にその旨を報告する。
4. 遅滞なくその旨を届け出る。